

病院だよりとよなか

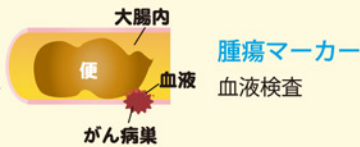
大腸がんの検査

市町村で行われる集団検診やがん検診または、人間ドックなどを利用し大腸がんの早期発見に努めましょう。血便・排便異常などの症状がある人は、精密検査を受けてください。

検診

便潜血検査

便に混ざっている血液を検査



精密検査

注腸造影

バリウムをお尻から注入



大腸内視鏡

感度が高い



大腸がんの治療

内視鏡的治療 低侵襲治療※

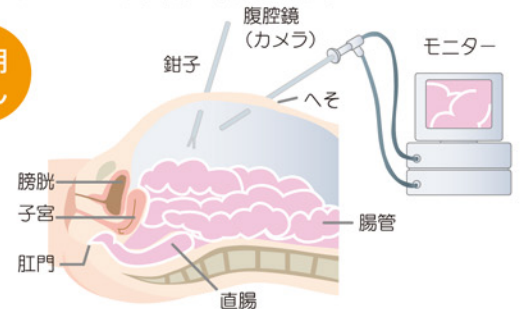
- 内視鏡を用いた早期がんに対する切除・治療（ポリペクトミー・内視鏡的粘膜切除術（EMR））
- 内視鏡的粘膜下層剥離術（ESD）
先進医療※3ページ豆知識参照

早期がん

腹腔鏡手術 低侵襲治療

お腹に小さな穴を数カ所あけて炭酸ガスを入れ、お腹をふくらませて手術を行います。

早期がん



利点

- キズが小さいため術後の痛みが少ない
- 美容学的に優れる（キズ口が小さい）
- 退院や社会復帰が早期にできる可能性がある

欠点

- 開腹手術に比べ技術的に困難
- 医療材料のコストが開腹手術よりも高い

開腹手術

結腸右半切除術

切除範囲

上行結腸

がん

横行結腸

結腸左半切除術

低位前方切除術
腹会陰式直腸切断術

がんの場所と
切除範囲

結腸左半切除術

下行結腸

進行がん

直腸

S状結腸

肛門(場合によっては人工肛門となる)

抗がん剤治療（化学療法）

抗がん剤を使わない時代、手術によりがんを取りきれなかった場合、余命半年くらいでした。現在、抗がん剤の使用・進化により生命予後が良くなってきています。

利点

- 切除不能ながんを小さくすることにより切除可能となる場合がある。

欠点

- 副作用
貧血、下痢、食欲不振、嘔気、嘔吐、全身倦怠感、皮膚障害、肝機能障害、脱毛、その他
- 時間的拘束
病院での治療の為、拘束される

進行がん

- 経済性（高価）
飲み薬4-7万円ほど・点滴治療10-20万円ほどの出費（3割負担の場合、月額）
- 手術で取り切れない大腸がんを、抗がん剤だけで完治させることは難しい

がん検診

大腸がんの症状による生存率は、無症状もしくは軽いと高く、早期に発見して治療すればほぼ治ります。大阪の大腸がん検診受診率は20%以下(平成22年)と低く、早期発見・早期治療のためには、定期的ながん検診が望まれます。

早期発見・早期治療
のために
がん検診を定期的に
受けましょう！

